

2007年8月21日

頂いたご意見

行動の手引2 - 4 . では運転管理しか取り上げていないが、設計を加えるべきである。

倫理委員会からの回答

倫理委員会では「目先の経済性優先」に設計はなじまないとの意見もありましたが、検討の結果ご意見を拝承し、加えることとしました。「設計」以外にもいろいろ加えるべきとの意見が出ましたが、どこかで線を引く必要があるということになり、結局次のように修正することといたしました。なお、今回の修正によりこの条文は「行動の手引」2 - 5 . となりました。

原子力・放射線関連の施設の設計・建設・運転・保守等の管理にあたり、目先の経済性を安全性に優先させない。

頂いたご意見

あと倫理規程で違和感があるのは、指摘をうけていたように「快適な」生活です。快適よりも、心身とも豊かな生活、あるいは「幸福」という感じなのですが…。「快適な」は私の語感ではちょっと違うかなと。土木学会は「良質な生活空間」となっており、現在の規程では「人類の生存の質の向上」が、この「快適な」の前に書いてあるので、快適な生活の部分はカットしてもいいのではないのだろうか？ 本当に必要なのでしょうか？

倫理委員会からの回答

この点につきましては倫理委員会でも多数の賛成があり、行動の手引1 - 4 . の「快適な生活の確保」は削除することといたしました。1 - 4 . はその結果、次のように修正することといたしました。

人類の生存の質の向上のためには、経済の持続的発展とエネルギーの安定供給、環境の保全という課題をともに達成することが必要であるが、それに至る道筋は容易ではない。これに資するため、会員は原子力平和利用に具体的手だてを見出し活用するよう、不断の努力を積む。

なお倫理委員会内部では、「快適な」を「良質な」など表現を工夫して残すという提案もありましたが、賛成は得られなかったことを申し添えます。